

# SHIN CLUB 285

(株)辰 東京都渋谷区渋谷3-8-10 JS渋谷ビル5F

tel/03-3486-1570 fax/03-3486-1450



「Estudio3」 撮影：アック東京

今月のトーク/monthly talk

## 時代の移ろい

写真は、10月に竣工いたしました「Estudio3」です。新型コロナウイルスの感染が拡大して早4年。社会経済への影響や人口減少に対し、アントニオ・グテーレス国連事務総長は「第二次世界大戦以来最大の試練」として語り、その後の私たちの日常生活も大きく変わりました。ワクチンの開発と共に感染拡大の波は穏やかになってきましたが、その後のライフスタイル・ワークスタイルに大きな変化を及ぼし、今まで浸透していなかった「SOHO」住宅や非接触を可能とするAI・IOTを取り入れた住宅、またオンラインワークを推奨する企業が増えたりと、コロナをきっかけに新しい住宅・職場環境を求める人も多くなりました。

「コロナの影響で住宅に対する要望は大きく変わりました。自転車所有者が増えたこと。在宅ワークでも支障のない小部屋のある間取り。換気のしやすい開放的な空間。在宅時間にできた新たな趣味の道具を収納できる十分なスペースなど。Estudio3はそういった移りゆく時代のニーズに合わせて計画をおこないました。例えば、60㎡で4LDKの部屋がありますが、通常はあまりないですよ」と語るのは、Estudio3の設計者 佐藤尚巳建築研究所の佐藤尚巳氏。

建物周辺の地域性やターゲット人物像などのヒヤリングをおこなった際、「コロナが住宅へ大きな変化をもたらしたと感じた」と語る佐藤氏。Estudio3の建つエリアは2人住みの需要が多いことから、双方が在宅ワークをおこなうことを想定し計画されたそうです。

「従来のマンションの間取りだと1人はリビング、1人は寝室で仕事をする事になり、環境としてはあまり良いとは言えません。実際しっかり隔離できたスペースを要望される方が多かったので、小部屋を増やし、多目的に使えるようシングルベッドが配置可能な広さ、洋服が掛けられるハンガーパイプを設置しました。収納としても、子ども部屋としても、寝室としても使えるようにしています。デスクを入れれば作業部屋にもなるので、とても可能性が広がる計画になったと思います」(佐藤氏)

玄関を開けると土間空間の先に開放感のあるリビングダイニング。リビングを中心に小部屋を設けることで、バルコニーへの抜け感と対面式キッチンとの一体感が生まれます。また土間を広くして閉塞的な導入を避けたことで、土間内に収納が設置可能となり、多彩なアウトドア趣味の道具などをそのまま収納することができます。

「土間を広くとることで中間領域が生まれ、それは一種の緩衝帯として住まい手に自由な空間を与えます。オフィスとして軽い打ち合わせをおこなっても良いし、アウトドアグッズや趣味の家財道具を収納しても良い。古き良き日本の暮らしを彷彿とさせる中間領域は住宅にとってとても意味を持つものだと感じています」(佐藤氏)

住宅の新旧を折り返合わせた「Estudio3」は、新しい時代を生きていきます。

## Estudio3



建物全景。「斜線」がテーマの外観

### 空間設計

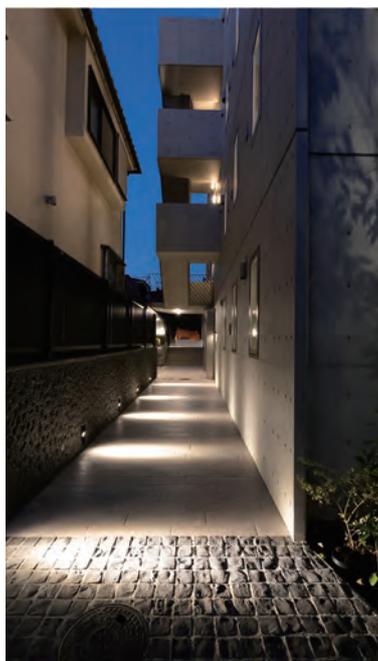
極力床面積を減らさず、街の雰囲気にも優しい建物になるよう意識して計画をおこなった。

Estudio シリーズのテーマは「斜線」。Estudio3 は壁上部を三角形にそぎ落とししたり、バルコニー先端をすぼませたりして、街に対し優しい印象となるように意図した。Estudio シリーズの共通テーマを踏襲しながらも、シリーズ内で差別化ができるように設計をおこなった。

室内側にもそのテーマは延長しており、メゾネットの貸室ロフト部分には天井との傾斜空間による空間の圧迫感を軽減するため小屋を設置。申請上「小屋裏収納」としているため、床を400mm上げ、天井高は1400mmとなっているが、マットレスを敷くとベッドルームとなり、ホテルやテントを彷彿とさせる空間に変わる。またロフト手摺部分には棚と丸パイプを設置することで、デスクとしての使用も可能となっている。



建物夕景



アプローチ夜景

「玄関」は昔、高貴な身分の家にはしか建造できなかったり来客時の作法や「敷居を跨ぐ」行為に重要な意味をもたらしていたことから、やはり閉塞的でなく開放感のある空間が良い。土間続きの収納にはアウトドア用品や家財道具を収納したり、部屋によってはそのまま対面キッチンのカウンターに繋がっているため、お店にいる感覚で友人との会話や軽い食事などを楽しんでもらいたい。

今回計画中に地中障害が発生し基礎の設計変更を余儀なくされた。軽微な変更届を申請し計画を進めたが、その影響で2~3か月の工期延期となり、引渡しをひっ迫することになってしまった。時代の流れと言えそうであるが、昔に比べ申請書類等の規則が厳しくなったのも、建築業界のさらなる発展と、安全性が国を上げておこなってきたことに他ならない。

コロナの影響もあり建築も変わりつつある時代。これからどのように変化していくか、楽しみである。

(佐藤尚巳建築研究所 / 佐藤尚巳氏・朝倉萌氏 談)



201号室。多彩な使い方が可能な小部屋



401号室。玄関から繋がる空間



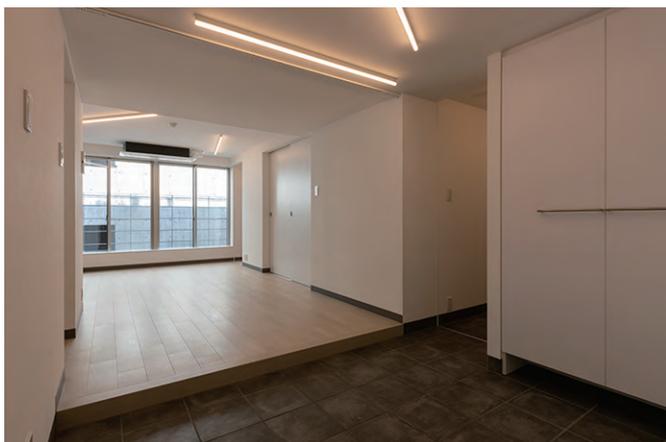
401号室キッチン側から。開放的な室内



303号室メゾネットタイプ。



小部屋のあるロフト空間



204号室。広々とした土間空間



土間から収納に直接アクセス可能なことで、大きな家財道具やアウトドアグッズの収納も可能。使い方が大きく広がる

構造：RC造  
規模：地上4階  
用途：店舗・共同住宅  
設計：佐藤尚巳建築研究所 / 佐藤尚巳・朝倉萌  
竣工：2023年10月  
施工担当：竹原・大友・小林  
撮影：アック東京



# Naomi Sato



# Moe Asakura

今月は Estudio3 の設計者、佐藤尚巳氏と朝倉萌氏にお話を伺いました。2004 年に Estudio シリーズの第 1 弾「Estudio (AZ)」(SHINCLUB54 号) を施工させていただき、その後「自由が丘の家：T 邸」(SHINCLUB212 号)、「善光ビル」(SHINCLUB241 号) などを経て、今回の「Estudio3」が弊社施工 4 棟目となりました。

—「善光ビル」と「Estudio3」は朝倉先生が担当されたのですね。「Estudio (AZ)」を施工させていただいた際、佐藤先生にいろいろお話を伺いましたので、今回は朝倉先生に建築との出会いや取り組みなどを伺えたらと思います。

朝倉：小さい頃から絵を描くことが好きで、進路を決める際周囲から建築系が良いのではと勧められ、資格も取得できるし、図面を描くことも楽しそうだなと思い建築学科へ進学しました。建築を学んでいくうちに、その面白さ・奥深さ・難しさを経験し、研究室の活動や先生の設計の手伝いなどをしていくうちに、もっと学んで意匠設計を職にしたいと強く思ったのが大学 4 年生のとき。その後大学院に進みより深く、意匠系の設計を学ぶこととなりました。

—建築を学んでいくたびにのめり込まれていったのですね。佐藤先生の事務所へ入所されたきっかけは。

朝倉：石原健也先生の研究室にいたのですが、たまたま石原先生と佐藤がコンペをやる機会があり、そのときにプロジェクトに参加し存在を知りました。「東京国際フォーラム」の統括をされた方というのは理解していましたが、その後卒業するタイミングで佐藤が人を探していると聞いたので、入所させていただきました。

—そのプロジェクト時の朝倉先生の印象はいかがでしたか。

朝倉：私が一方向的に知っていただけなので、そこまで印象はなかったのではないのでしょうか？(笑)

佐藤：そうですね(笑)。初めて事務所へ来たとき、とてもはにかみ屋さんと声も小さかったですね。ですが今回の計画でずいぶん成長したと思います。一人前の建築家に育ったなと感じています。

—住宅を設計される際に意識していることはありますか。

朝倉：自分のやりたいデザインより、建て主の希望を叶えてあげるにはどうしたら良いのかという点を意識しています。「芸術作品を創るのではなく、建て主の意見を汲み、その上でただ創るのではなくプロとして昇華させるような設計をする」という佐藤の教えを実現できるよう計画しています。

佐藤：建築家は得てして芸術作品に走る人が多いのが現状です。気持ちは分かるのですが、見た目にこだわった結果、断熱性能の不備や漏水、メンテナンスに困る納まりの建物になってしまっただけでは「建築家」全体の評判を落とすことになってしまいます。それらは日本の建築に対する学校教育の弊害だと考えます。海外では契約社会での建築家の倫理観や役割というのをみっちり 5 年間学び、うち 2 年はインターンシップで企業での実践を積みやっとなり資格がもらえますが、日本は専門課程で 2 年間しかありません。だからこそ集約されているのかもしれませんが、コンセプトが重視されすぎてプロとして備えるべき資質を教えていないのは、非常に問題があるように思えます。住居として問題がないことが大前提で、且つおしゃべりだったりデザインが凝っていたり。そこに「建築家」の価値があるのに、建て主が望んでいないことや、メンテナンスで困る使い勝手など、そういうのを分かって提案してしまうのはプロとして良くはないですよ。

—佐藤先生の「建築家ってどんな人？」の動画拝見しました。「建築家」がどういった職業なのか分かりやすく面白かったです。

佐藤：先程のようなイメージを払拭し、本当の「建築家」とはこういうものだというメッセージで作成しました。日本でももっと「建築家」が身近で、一般の方でも関わりやすい存在となって欲しいと思っています。

—本日はありがとうございました。

【建築家ってどんな人？】  
佐藤尚巳氏の建築家としてのルーツを辿りながら、「建築家」がどういった人物像なのかを描いた映像作品。



## 朝倉 萌 (あさくら もえ)

1990年 愛知県生まれ  
2013年 千葉工業大学工学部建築都市環境学科意匠系 卒業  
2015年 千葉工業大学院工学研究科建築都市環境学専攻 石原研 修了  
佐藤尚巳建築研究所 入所

### 【受賞歴】

2023年 JIA2022 年度優秀建築選 善光ビル

## 佐藤 尚巳 (さとう なおみ)

1955年 東京都生まれ  
1979年 東京大学工学部建築学科 卒業  
1988年 ハーバード大学デザイン学部大学院 修了  
1979年 菊竹清訓建築設計事務所 入所  
1988年 I.M.Pei and Partners (New York)  
1990年 Rafael Vinoly Architects PC (New York)  
1990年 ラファエルヴィニオリ建築士事務所 東京事務所長 東京国際フォーラム統括  
1996年 佐藤尚巳建築研究所 代表取締役  
2022年 JIA 日本建築家協会会長 就任

### 【受賞歴】

2006 The Boston Society of Architects a chapter of the AIA, Awards For Design 2006 田園調布の家  
2007 International Architecture Awards for the Best New Global Design 上海旗忠森林体育城テニスセンター  
2009 The Illuminating Engineering Society of North America, Merit Award 青山 OM スクエア  
2010 United States Institute for Theatre Technology, Merit Award いわき芸術文化交流館 アリオス 第 50 回 B C S 賞 (建築業協会賞) いわき芸術文化交流館 アリオス 他多数受賞

TOPICS/INFORMATION

ZEN 社一丸大運動会 第11回大会 2023年10月28日(土) — よみうりランド運動公園 —

毎年恒例のZENホールディングスの大運動会が今年も開催されました。声だし応援の再開やマスク着用が任意となった第11回大会。コロナ前の活気が戻り、例年以上の盛り上がりとなりました。

昨年残念ながら4位となってしまった雪辱を晴らすべく、各種目ごとに念入りな選手選びをおこなった弊社。目指すは王座奪還です。

開会の挨拶の後、前回大会優勝のオアフクラブによる優勝旗返還をおこなわれ、運動会実行委員による選手宣誓、全体で



デッドヒートを繰り広げる徒競走の準備運動をおこない競技がスタート。

第一種目の徒競走 & お宝ゲットだぜ! では、今年入社の若手がデッドヒートを繰り上げ、続く第二種目の綱引きでは「綱引きと言えば辰」と言わんばかりの大差をつけて見事1位に。第三種目に玉入れがおこなわれ、持久力勝負となる第四種目、マラソン大会。昼食を挟み、O×クイズ、大玉おくり、ムカデ競争を経て最終種目の事業会社対抗リレーをおこな



力自慢の選手で挑んだ綱引き

各競技含み入りの選手選びをおこないましたがそれを上回るグループ会社の実績に、常勝優勝の弊社も余裕

得点順位が発表され、見事総合1位を獲得したのは株式会社ユニホー。弊社は惜しくも2位という結果になりました。

競争に参加された方々、大変お疲れ様でした。

いました。各社俊足自慢の選手を揃えてのガチンコリレーとあって、全社大きな声援を送って選手を応援。大歓声のなか全競技が終了し、最後は全体でのストレッチをおこない、閉会式となりました。

得点順位が発表され、見事総合1位を獲得したのは株式会社ユニホー。弊社は惜しくも2位という結果になりました。



最後に全員集合。皆さまお疲れ様でした

「AUBE 虎ノ門」が JIA 優秀建築選 2023 に選出されました

SHINCLUB267号でご紹介の「AUBE 虎ノ門」が、「JIA 優秀建築選 2023」に選出されました。住宅と職場の考え方が変化した昨今。新たな「SOHOスタイル」として自分だけのライフスタイルを実現させたパーソナライズドレジデンスです。



構造/規模: RC造/地下1階・地上4階  
用途: 共同住宅・事務所  
事業主: リアルパートナーズ(株)  
設計: 櫻井潔建築設計事務所・ETHNOS  
施工担当: 谷田・井田  
竣工日: 2023年3月

FC 町田ゼルビア J2 優勝 & J1 昇格祝賀会 — レンブラントホテル東京町田 —

弊社がパートナーシップを結んでいるJリーグチーム「FC町田ゼルビア」の祝賀会に参席し、大会を戦い抜いた選手たちや黒田監督らとその功労と感動を分かち合いながら、来シーズンに向けての抱負を語り合いました。



選手と監督にお祝いとエールを贈る

会には株式会社ゼルビアのCEO 藤田普氏も参席し、その優勝と昇格の喜びを話されました。J1は強敵揃いです。弊社もカー杯応援していきます!

「(仮称) 南麻布の住宅」新築工事 地鎮祭 2023年10月30日



閑静な住宅地に外断熱で快適にお過ごしいただける専用住宅を建築します。

構造/規模: RC造/地上3階  
用途: 専用住宅  
設計: 声沢啓治建築設計事務所  
施工担当: 堤 (谷田チーム)  
完成予定: 2024年11月

「(仮称) 若松町 036 プロジェクト」新築工事 地鎮祭 2023年11月7日



趣のある邸宅街に、メゾネットタイプの共同住宅を計画します。

構造/規模: RC造/地下1階・地上4階・塔屋  
用途: 共同住宅  
設計: 木下道郎ワークショップ  
施工担当: 谷田・鍋島 (谷田チーム)  
完成予定: 2024年12月

「(仮称) 竹下通りプロジェクト」新築工事 安全祈願祭 2023年11月14日



竹下通りで現在施工中の4軒隣にて、テナントビルを建築いたします。

構造/規模: RC造/地上4階  
用途: テナントビル  
設計: アトリエ・ワン  
施工担当: 山川・土屋 (村山チーム)  
完成予定: 2024年11月

「(仮称) 田園調布5丁目計画」解体工事 安全祈願祭 2023年11月17日



新築工事に伴う解体工事です。安全第一で解体いたします。

構造/規模: RC造/地下1階・地上2階  
監理・設計: ポートラウンジー級建築士事務所  
施工担当: 鯨津・本間  
完成予定: 2024年4月

編集後記

・本年も小紙を拝読いただき、誠にありがとうございました。コロナの影響も少しずつ緩和された2023年でしたが、同時に働き方や住宅の考え方などに変化をもたらす年でもありました。来年も新しい建物を丁寧にご紹介してまいります。皆さま、良いお年をお迎えください。

(株)辰通信 Vol.285 発行日 2023年12月10日  
編集人: 本間夏来/村上由衣/土屋祐一郎 発行人: 若本健寿  
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-8-10 JS 渋谷ビル 5F TEL:03-3486-1570  
FAX:03-3486-1450 E-mail: daihyo@esna.co.jp URL:http://www.esna.co.jp



「SHIN CLUB」はWEB上でもご覧いただけます。

バックナンバーもPDFで掲載しています。スマホはこちらから →

